



副市長  
ふじい かつひろ  
**藤井 勝公**

趣味 ゴルフ、ツーリング、音楽鑑賞

本年2月の定例市議会で同意を頂き、4月1日付で合志市副市長として勤務させて頂くことになりました藤井勝公（ふじいかつひろ）と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。

まずもって、3月11日に発生した東日本大震災の犠牲となられた方々のご冥福をお祈りいたしますと共に被災者の皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

本市は、政令指定都市となる熊本市の隣接市として、また、基本構想の“未来輝く産業・定住拠点都市づくり”をめざす市として、着実に発展しておりますが、この度、故郷合志市の副市長という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いでございます。

私は、大学卒業と同時に熊本県警に奉職し37年間勤務しました。退官後は“暴力のない安全で安心な郷土熊本県の実現”を目的とする公益財団法人熊本県暴力追放運動推進センター専務理事として2年間勤務しました。

言うまでもなく、警察の仕事は、公共の安全と秩序を維持することですが、今後は、永年警察で培った危機管理の経験や多くの人脈を職務に生かして、市長の補佐役として、市議会や市職員の皆さんと協働して“良か合志市づくり”に頑張ってお参りますので、市民の皆さまのご支援ご協力をお願い申し上げます。



▲農業大学校との協定（4月28日）



▲新日本製薬との協定（4月6日）



▲農業公社との協定（1月17日）

市長  
あらき よしゆき  
**荒木 義行**



薫風の候、全身に元みなぎる季節になりました。早いもので今年の4月に就任をいたしまして一年が経過しました。

この一年を振り返ってみますと、宮崎県で発生しました口蹄疫、鳥インフルエンザ、鹿児島県の新燃岳の噴火、感染、自然災害など危機管理の問題が大変重要視された年でした。

さらには、東日本大震災の発生です。この震災で犠牲になられた皆さまに対し哀悼の意を表し、被災されたすべての皆さまに心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈りします。

本市も被災地に対し義援金と物資の支援を行なうと共に、現在市民の皆さまのご協力で約1,770万円（4月26日現在）の寄付をお寄せいただきました。今後、復興には長い時間と費用が掛かるとは思いますが、適宜可能な

限りの支援に努めます。

また、2月議会で平成23年度合志市一般会計予算も可決成立しました。しかし、長引く経済不況と、福祉・医療費などの増大により、財政の硬直化がさらに深刻な問題となってきています。東日本大震災の影響もあり、国家予算も東北地方に重きがおかれると思います。本市としては、「健康都市こうし」「稼げる市」を目指し、更なる緊縮財政を考慮しながら、着実に本年度事業を進めていきます。

本市の現状を見てみますと、これまでは国民健康保険特別会計の不足部分に対し基金を取り崩して補ってききましたが、本年度で基金もゼロになります。他にも、市民サービスを現状のまま続けるだけでも毎年億単位で不足額が生じます。

今日までの行政は、「あれも、これも」のサービスを提供してきましたが、「今さえよければ良い」との考えから、基金の取り崩しや借金を増やしてまで、サービスの向上を図ることは絶対にやってはいけないことです。

これからの行政サービスは、「あれか、これか」の事業選択と優先度を考えたものに変えていかなければ、将来に禍根を残すことになります。

知恵と努力とやる気で市職員、力を集結してこの難局を乗り越え、今年度も元気な合志市づくりを目指して頑張りますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

## 各種団体との包括協定の歩み



▲肥後銀行との協定（1月13日）



▲イー・エル・テクノとの協定（1月12日）